

やまびこ

354

令和6年8月1日
 鶴岡市立図書館
 鶴岡市郷土資料館
 〒997-0036
 鶴岡市家中新町 14-7
 TEL (図)25-2525
 (郷)25-5014
 FAX 25-2526



リードン ヨンデール
 ©Tsuchida Yoshiharu



新しいお札の顔は……



7月3日に新紙幣の発行が開始されましたが、皆さんはもう実物をご覧になったでしょうか？紙幣のデザイン変更は20年を目安に、ユニバーサルデザインや偽造対策への対応を目的に行われるそうです。ユニバーサルデザイン対応は、今までより金額の文字部分が大きく見やすくなり、触るとざらざらする11本の線が券種ごとに違う場所に印刷されています。そして偽造対策の今回一番の目玉は、肖像の3Dホログラムでしょうか？今までのお札にもホログラム部分はあったのですが、金額とパターン絵柄が交互に出てくるものでした。新しいお札のホログラムは、なんとお札の顔となった人物の肖像が向きによって回転します。ホログラム部分は小さいのですが非常に精巧にできており、あらためて日本の造幣技術の高さに驚かされます。

そんな今回発行の新紙幣の顔に選ばれたのが、破傷風菌の発見と治療法開発で世界中を驚かせた北里柴三郎、女性初の留学者のひとり女子英学塾(現:津田塾大学)の創立者津田梅子、「近代日本経済の父」と称され約500もの企業の設立・経営に関与したとされる類を見ない実業家渋沢栄一の3名です。お札の顔となる人物の条件として、肖像の作成の参考になる精密な写真が存在し、品格のある肖像で、業績が広く認められていること…とあります。条件のうち精密な写真の部分の関係で、近年は明治時代以降の人物が選ばれるようになってきているようです。そもそもなぜ精密な写真が必要なの？という、お札の肖像は写真そのままを使用しているのではなく、国立印刷局で勤務する国家公務員である工芸官が複数の写真をもとに、肖像にふさわしい姿で描いているのだそうです。例えば1万円札の渋沢栄一は『70歳の古希のお祝い時に撮影された写真等複数枚を参考として描かれました。ただし、各方面で活躍されている躍動感や若々しさを表現するため、60歳代前半にリメイクされています。』注1となっています。描かれた時代の功績はぜひ図書館の本でご覧になってください。

注1) 国立印刷局. “肖像の人物紹介ページ”.新しい日本銀行券特設サイト.(参照 2024-7-31)https://www.npb.go.jp/ja/n_banknote/shokai/

図書館にある「お札の肖像になった人物の本」

◎渋沢栄一

- 『渋沢栄一伝』 小前亮(2020)
- 『青天を衝け』 NHK出版(2021)
- 『青天を衝け 1~4』 大森美香(2021)
- 『むさぼらなかつた男』 中村彰彦(2021)
- 『渋沢栄一と一万円札物語』 オフィス303(2020)
- 『渋沢栄一のことばと人生』 是澤博昭(2023)
- 『声に出して読む渋沢栄一 「論語と算盤」』 齋藤 孝(2019)
- 『小学校では学べない渋沢栄一の やりぬく力』 齋藤 孝(2020)

◎津田梅子

- 『津田梅子』 高橋 裕子(2022)
- 『津田梅子 コミック版世界の伝記』 高田 桂(2024)
- 『津田梅子と五千円札物語』 オフィス303(2021)
- 『悩める女子の教室で偉人が人生を語りだした』 木平 木綿(2020)
- 『教育者という生き方』三井 綾子(2012)
- 『津田梅子を支えた人びと』 飯野 正子(2000)
- 『津田梅子 上下 大活字本』 大庭 みな子(1996)

◎北里柴三郎

- 『ドンネルの男・北里柴三郎 上下』 山崎 光夫(2003)
- 『北里柴三郎と千円札物語』 オフィス303(2021)
- 『子ども伝記図書館 1』 河合 三郎 ほか(1978)
- 『闘う医魂』 篠田 達明(1997)
- 『北里柴三郎』 森 孝之(2021)
- 『感染症とたたかった科学者たち』 岡田 晴恵(2013)
- 『奏鳴曲』 海堂 尊(2022)



8月の新着案内



リクエスト・予約開始は 8月9日(金) です

やまびこ号の次回巡回日は

月 日です

◎小説・エッセイ

- 完本神坐す山の物語(浅田 次郎)
- 剣樹抄 [3](冲方 丁)
- 神の庭付き楠木邸 7(えんじゅ)
- 転の声(尾崎 世界観)
- プラチナハーケン1980(海堂 尊)
- 鴨川食堂ごほうび(柏井 壽)
- 城崎にて四篇(森見 登美彦)
- 死蟻の匣(榊木 理宇)
- ミチノオク(佐伯 一寿)
- バタン島漂流記(西條 奈加)
- 人質の法廷(里見 蘭)
- いなくななくならなくならないで(向坂 くじら)
- 海岸通り(坂崎 かおる)
- さらば故里よ(佐伯 泰英)
- 四つの白昼夢(篠田 節子)
- 緋あざみ舞う(志川 節子)
- 命日(瀬戸内 寂聴)
- たったひとつの冴えない復讐(竹吉 優輔)
- わかれ道の先(田牧 大和)
- 夜と跳ぶ(額賀 滯)
- なぞとき(畠中 恵)
- 報道協定(初瀬 礼)
- 邪行のビビウ(東山 彰良)
- いいひと、辞めました(ふかわ りょう)
- なんで死体がスタジオに!?(森 バジル)
- 難問の多い料理店(結城 真一郎)
- 下町サイキック(吉本 ばなな)
- がん闘病日記(森永 卓郎)
- スウープ!(P. G. ウッドハウス)
- 処刑台広場の女(マーティン・エドワーズ)

◎実用書

- 図書館と知識社会(未来の図書館研究所)
- 東京市立図書館物語(吉田 昭子)
- 谷根千の編集後記(森 まゆみ)
- メディアはなぜ左傾化するのか(三枝玄太郎)
- 自分とか、ないから。(しんめいP)
- 空海と密教解剖図鑑(武藤 郁子)
- 古墳と埴輪(和田 晴吾)
- 古代エジプト(河江 肖剽)
- 日記から(坪内 祐三)
- おいしい道の駅ドライブ [2024]
- 警視庁公安捜査官(勝丸 円覚)
- 町内会(玉野 和志)
- ぶらり世界裁判放浪記(原口 侑子)
- 消費者金融ずるずる日記(加原井 末路)
- 上司いじめ(國安 耕太)
- フレイフレー! 就活高校生(中島 隆)
- 理科の時間(松井 大助)
- シニアが陥る50の危険(三菱総合研究所)
- 60歳からの生き方図鑑(百田 なつき)
- ひとり老後を幸せに生きる(和田 秀樹)
- 子どもと作る科学工作(ささぼう)
- 皮膚ガスのはなし(関根 嘉香)
- 慢性疲労を治す本(堀田 修)
- レシピの役には立ちません(阿川 佐和子)
- 猛暑対策BOOK(藤井 直人)
- 誰も農業を知らない 2(有坪 民雄)
- そばの科学(池田 清和)
- バズる! 写真撮影術(中瀬 雄登)
- 軽量登山入門(栗山 祐哉)
- AIは短歌をどう詠むか(浦川 通)

◎児童書

- 図書館のひみつ(アサミネ 鈴)
- 悪いことはなぜ楽しいのか(戸谷 洋志)
- 名字の事典(森岡 浩)
- ことわざびっくり事典(こざき ゆう)
- 陸上競技入門(菅間 友一)
- パラスポーツ事典(高橋 明)
- 深海魚に会える海(堀口 和重)
- 世界を変えた薬(講談社)
- ◎絵本
- いちごりら(麻生 かづこ)
- トドにおとどけ(大塚 健太)
- ちんあなごのしんかいツアー(大塚 健太)
- こうじのくるま(講談社)
- あぶないばしょはどっち?(小宮 信夫)
- おとしましたよ(マスタ ケイコ)
- うみへ(三浦 太郎)

= 今月の誕生鳥 =



カワセミ



全長 17 センチ程度の小魚を主食とする鳥。背中の青色が美しく、野鳥撮影家にも人気。

～カワセミの出てくるお話～

- ・『カワセミのあおとあか』
キム ファン/脚本
- ・『すだつきたのかわせみ』
手島 圭三郎/著
- ～カワセミ入門の1冊～
- ・『につぼんのカワセミ』 矢野 亮/監修

新着図書は右記以外にもありますので、お気軽にお声がけください。
 新刊は、ホームページでもご覧いただけます。
<http://lib.city.tsuruoka.yamagata.jp/>

